



2024年8月14日

各位

会社名 恵和株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 長村 恵 氏
(コード番号：4251 東証プライム)
問合せ先 取締役執行役員 管理本部 本部長 代理
兼 財務部長 吉岡 佑樹
TEL. 03-5643-3783

第2四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異及び 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2024年2月13日に公表いたしました2024年12月期第2四半期（中間期）（2024年1月1日～2024年6月30日）の連結業績予想数値と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、同じく2024年2月13日に公表いたしました2024年12月期通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値との差異 （2024年1月1日～2024年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 9,075	百万円 1,261	百万円 1,262	百万円 964	円 銭 50.06
実績値（B）	9,648	2,063	2,567	1,577	81.83
増減額（B－A）	572	802	1,305	612	—
増減率（%）	6.3	63.6	103.5	63.5	—
（ご参考）前期第2四半期実績 （2023年12月期第2四半期）	7,394	592	928	625	32.48

（第2四半期（中間期）連結業績予想数値との差異の理由）

売上高につきましては、光学シート事業において、高性能な直下型ミニLED液晶ディスプレイ向け複合拡散板「オパスキ®」が堅調に推移するとともに、従来型の液晶ディスプレイ向けの光拡散フィルム「オパルス®」について、市況の回復による需要増、新規受注の獲得、並びに既存取引先におけるシェアアップ等により、「ノートPC・タブレット」向けを中心に第2四半期連結業績予想対比増収となったことに加えて、中間期における実績為替レートが想定より円安となったことにより、前回予想を上回りました。

利益面につきましては、上記の光学シート事業の増収及び為替影響により、営業利益は前回予想を上回ったことに加えて、主として、当社が保有する外貨建債権の期末為替レートによる評価替えにより為替差益が発生したことから、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益はいずれも前回予想を上回りました。なお、前回予想の為替レートの前提は、1US\$ = 138円としております。

2. 2024年12月期通期連結業績予想数値の修正
(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 19,667	百万円 2,788	百万円 2,784	百万円 2,128	円 銭 110.44
今回修正予想 (B)	19,798	3,146	3,275	2,192	113.73
増減額 (B - A)	131	357	491	64	—
増減率 (%)	0.7	12.8	17.7	3.0	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	17,570	2,455	2,757	1,983	102.92

(通期連結業績予想の修正の理由)

2024年12月期通期連結業績予想につきましては、当第2四半期(中間期)連結期間における業績に加え、地球の絆創膏事業の方針変更による下期の売上の減少、為替相場の動向を考慮した為替レートの見直しを反映し、修正いたします。

当該予想では、下期平均の為替レート的前提を、前回予想の1US\$=138円から下期1US\$=143円に変更しております。なお、今回の連結業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

※ 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上